

平成30年度 4月～7月

戦争体験を聞く会

開催月日	語り部（戦争体験者）のお名前・生年など	タイトル・主な内容
4月 15日（日）	よしむら としこ 吉村 登志子 さん (昭和11年生まれ、東近江市在住)	「福島への疎開と戦後の生活」 京都・西陣の織物問屋に生まれ、昭和20年5月、小学校2年生時に福島県に一家で縁故疎開。その道中での空襲体験と戦後、京都に戻り、9歳で学校に行けず、一家の大黒柱として家族を支えてきた日々についてお話しいたします。
5月 13日（日）	ふじさき たかお 藤崎 高男 さん (大正15年生まれ、野洲市在住)	「語り継ぐシベリア抑留」 昭和15年、朝鮮の電力会社に就職。その後、父のいる満州の開拓団へ。昭和20年、徴兵検査を受け、関東軍自動車部隊に現地入隊。8月9日のソ連軍侵攻ののち、シベリア・コムソモリスクへ抑留。昭和22年11月、日本に帰還されるまでに体験されたことがらについてお話しいたします。
6月 10日（日）	たけむら すえの 竹村 季乃 さん (昭和13年生まれ、湖南市在住)	「戦地からの手紙 ～家族を想う父とともに～」 生後8か月で竹村家に養女として入った季乃さん。昭和16年、2回目の召集でビルマに行き、昭和21年に戦病死された養父・正雄さんの戦地からの手紙にあった家族を想う気持ちや当時の様子についてお話しいたします。
7月 15日（日）	こにし ひさじろう 小西 久次郎 さん (昭和4年生まれ、彦根市在住)	「予科練での日々と戦後の生活」 昭和19年、16歳の時、旧制彦根中より第15期甲種飛行予科練習生として鳥取・美保航空隊に入団。その後、石川・小松航空隊への異動の後、福井・高浜で終戦を迎える。その間のできごとと戦後、地元企業に就職するまでの日々についてお話しいたします。

時間は各回とも、13時30分～15時ごろまで



今年1月14日（日）の戦争体験を聞く会より

- ・若い世代の私たちが戦争を知ることには意味があると思います。少しでも周囲に広げられたらと思っています。
- ・語り部の方が年々少なくなる中で、つらい思い出や体験を聞かせていただくことはとても価値のあるものだと感じました。（これまでの会の参加者の感想より）

- ・場所は各回とも研修室です。
- ・事前申し込みは不要です。
- ・参加費は無料です。

会場：滋賀県平和祈念館（東近江市下中野町431番地）

お問い合わせは、**滋賀県平和祈念館**まで

電話：0749-46-0300 ファックス：0749-46-0350 メール：heiwa@pref.shiga.lg.jp